



拓北・あいの里地区社協ミニ通信

拓北・あいの里地区社会福祉協議会

会長：渡邊 寛 広報部長：森下 満

この広報紙は赤い羽根共同募金の支援を受けています

No 94

令和 7年 2月 19日

**2月5日(水)に社協常任理事会が行われました。
各部の活動状況と今後の予定についてご報告します。**



インフルエンザ、新型コロナ、マイコプラズマ肺炎の3つの感染症が昨年
から流行しています。皆さん気を付け
ましょう。

■ ボランティア企画部より ■

・生活支援ボランティアの輪が広がっています！

- ・昨年12月から、スポット除雪4件の他、お掃除の依頼も！ 地域に浸透しています。
- ・中学生の子を社会学習のため生活支援ボランティアに登録したい、との相談があり、保護者（お父様）と一緒に活動する条件で登録を認めました。
- ・あいの里高等支援学校から、生活支援ボランティア事業に生徒さんたちの地域貢献の一環として授業を通じてお手伝いしたいとの要望があり、北区社協を通じて打合せの申し出がありました。今後、事前に計画して取り組む形の提案を行い、交流からスタートし、学校との共同実施を目指してまいります。

※ボランティアのご相談は778-0778へ（受付：月・水・金曜日の10:00～12:00）

■ ふれあい交流部より ■

- ・2月4日(火)の「ひまわりクラブ」は拓北・ひまわり会館に3組6名の親子さんが参加され、自由遊び、親子体操とわらべ歌、絵本の読み聞かせを楽しまれました。



3組・6名の親子さんたちが参加した、2月4日のひまわりクラブ



ひまわりクラブで、絵本の読み聞かせを行っている様子



地区センター17名、オンライン2名、合計19名が参加した、1月21日の地域ケア部の例会



地域ケア部1月例会ゲスト・眞鍋孝幸さんが管理者として勤めているデイサービスさくらほーむ拓北の外観

■ 地域ケア部より ■

1月例会は21日(火)18:30～20:00、地区センター2階集会室にて、デイサービスさくらほーむ拓北(拓北7条4丁目3-14)の管理者・眞鍋孝幸(まなべ・たかゆき)さんをゲストに「一期一会の積み重ね」をテーマに、地区センター2階集会室にて、話題提供をいただき、意見交換を行いました。

地区センターでの対面とオンラインでのハイブリッド方式で行われ、参加者は地区センター17名、オンライン2名、合計19名。

話題は主に、デイサービスさくらほーむ拓北に関するもので、具体的な内容は、(1)その概要、(2)基本理念、(3)特徴、(4)デイサービスに求められる役割とさくらほーむ拓北で行っている具体事例、の4点。

[裏につづく ➡]

(1)デイサービスさくらほーむ拓北の概要：2013年9月1日に開設した地域密着型通所介護サービスを行う事業所で、利用定員は1日当たり10名(在籍28名)、スタッフ数9名(男1名、女8名)、運営法人は㈱さくら福祉サービス。

(2)基本理念：①人に対する思いやりの心を基に、ご利用者様一人ひとりの個性、人格を尊重し日々の生活を支えていくこと、②ご家族や地域との絆、ふれあいを大切にみんなが笑顔で生き生きとした生活ができるように共に歩いていくこと。

(3)特徴：①健康回復をテーマにしたこだわりの食事、入浴、運動メニューー玄米食の提供・化学調味料の不使用・入浴時のシャンプー・リンス・石鹸・入浴剤などは自然材料のものをなるべく使用・温熱マットの選択使用。②充実のレクリエーションー担当の先生を派遣し各教室の開催(隔週水曜日：裁縫教室、金曜日：ちぎり絵教室、火曜日：ハンドベル教室)、火・土曜日：麻雀、毎月1～2回の外出レクリエーションの実施。③我が家にいるようにリラックスして各自のスペースで過ごしてもらおう。④小規模を活かした小回りの利く臨機応変な対応。⑤経験豊富なスタッフを揃え、質の高いサービスの提供。

(4)デイサービスに求められる役割とさくらほーむ拓北で行っている具体事例：

①入浴・排泄・食事の介助ー入浴は個浴、排泄は個人の状況に応じた対応・働きかけを行っている、食事は職員の手作りで、温かいうちに提供し安価、など。

②自立に向けた機能訓練ー毎朝夕の介護体操、など。

③健康維持によるQOLの向上ー利用者一人ひとりがその人らしく生きることができるよう、運動不足解消のため全体運動のほか、個別運動を実施。

④社会参加ースタッフが積極的に楽しい雰囲気を作るように心がけている。

⑤家族の負担軽減ーラインやメール、連絡帳、送迎時の様々なやりとり、などを行っている。

話題提供後の会場との質疑応答では、利用者さんはどこからいらっしゃっているのか、またどのような方なのか、という質問がありました。さくらほーむ拓北の規定では札幌市全域を対象としているが、現在、一番遠いところでは中央区南1条西10丁目にお住まいの方で、送迎している(車3台有り)、多いのは北区、東区の方で、最近では拓北・あいの里のご近所の方が増えてきた、69歳から99歳までの方が利用している、とのこと。

拓北・あいの里地区では近年、大規模の介護施設が増えてきていますが、さくらほーむ拓北のような小規模ならではの施設の良さが理解できた会となりました。

なお、2月例会は18日(火)18:30～20:00、地区センター2階集会室にて、株式会社LIO(手稲区富丘4条4丁目3-18)代表取締役・笹木雄太さんをゲストに「高齢者住宅の理想と現実」をテーマに、話題提供をいただき、意見交換を行いました。その内容については次号の95号で報告いたします。

◇ 今後の予定 ◇

3月例会は18日(火)18:30～20:00、地区センター2階集会室にて、拓北あいの里ケア施設町内会事務局長・長谷川聡(はせがわ・さとし)をゲストに「福まちYouTube案内～その1.認知症・心身障がい」をテーマに、話題提供をいただき、意見交換を行う予定です。

地区センターでの対面とオンラインでのハイブリッド方式で行います。「ケア施設町内会会員メーリングリスト」登録者にはZoomアクセス情報をお知らせします。その他の方はケア施設町内会事務局・長谷川までメール hasepy55@gmail.com でお問合せ下さい。